



茨木のり子の詩情世界

茨木のり子／2024冬

「平和のための言の実」の会

—— 沖縄県平和祈念資料館

大会議室(2F)

- 主催
「平和のための言の実」の会 実行委員会
- 後援
(一社) 洗楓座、(二社) 国際善隣協会、
松戸朗読と文学の会、鎌倉共生の会、
沖縄県教育委員会、法政大学沖縄文化研究所、
沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK沖縄放送局、
平和を祈念する沖縄有志の会、
海燕社(古書店うみつばめ)、中部電算フォーム
- &協力

「それを選んだ」 茨木のり子

退屈きわまりないのが 平和
 単調な単調なあけくれが 平和
 生き方をそれぞれ工夫しなければならないのが 平和
 男がなよなよしてくるのが 平和
 女が澆刺としてくるのが 平和
 好きな色の毛糸を好きだけ買える
 眩しさ！
 とすれば淀みそうになるものを
 フレッシュに持ち続けてゆくのは 難しい
 戦争をやるより ずっと
 見知らぬ者に魂を譲り渡すより ずっと
 けれど

わたくしたちは
 それを
 選んだ



Joseph Maurice Ravel



愛と平和 / Designed by 一色宏

「愛は努力である」
by プラトン



- 発行：一般社団法人 洗楓座
- 編集：青柳浩生
- WEB：<http://www.kofuza.com/html/event.html>
- Mail：ksato@kofuza.org
- Tel：090-1268-5882
- 発行日：2024年12月21日
- 売価：500円(60部限定)

序

「観光や教育など日常の行いが、ふつうにできるのは、平和であるからにはかなりましん、・・・」と、玉城デニー知事は、東京での講演で結んだ。「平和」は、空気のように気づきづらいですが、なくてはならないものであることが分かります。

沖縄は、平和の反対である戦争により大きな犠牲を強いられました。そして、今なお犠牲や負担を被っています。平和への祈念は、沖縄県だけでなく、本土の都道府県でも、そして近隣諸国、全世界においても求められています。それは、政治においてばかりでなく、私たちの暮らしにおいても求められる身近なものです。

詩人・茨木のり子は、自身の戦争体験から、平和や戦争のない社会や暮らしを求める詩作を多く残し（遺し）ました。『わたしが一番きれいだったとき』は、戦時中を回想してつくった作品で、戦争のない世の中を希求したものでした。

今回の行事は、茨木のり子の詩情あるいは詩趣を心にとめ、戦争のない世の中を継続できるようにとの考えから企画されました。沖縄県での「茨木のり子の詩情世界」の第1回目として位置付けて開催できることに感謝とお礼を申し上げます。

2024年12月21日

企画 佐藤建吉（青柳浩生）



次第

○日時 2024年12月21日午後1時半～4時半

○会場 沖縄県平和祈念資料館・大会議室

開会／序

(一) 第一部 茨木のり子の詩情世界

朗読

山川建夫

朗読

神田雪枝

(二) 第二部 平和祈念活動の紹介

解説&メッセージ

青柳浩生、(井出亜夫)

講話

平良次子

報告

平田菜乃華・仲里芽依

(三) 第三部 平和への稔性

朗読劇

沖縄国際大学学生

歌とトーク

ムンロ王子

意見交換とまとめ

青柳浩生

閉会／結（終）

#茨木のり子

茨木のり子、本姓・三浦、1926年（大正15年）6月12日、2006年（平成18年）2月17日）は、日本の詩人、エッセイスト、童話作家、脚本家。結婚前は、宮崎園子。三浦安信（医師）と1949年に結婚。

1953年5月に「詩学研究会」の仲間の川崎洋と同人誌「權」を創刊。創刊号は川崎洋・茨木のり子の二人。二号から谷川俊太郎、三号から吉野弘、舟岡遊治郎、四号から水尾比呂志が参加、その後は中江俊夫、友竹辰、大岡信などの詩人が参加。主な詩集に、『対話』『見えない配達夫』『鎮魂歌』『自分の感受性くらい』『倚りかからず』ほか。戦時下の女性の青春を描いた代表作の詩「わたしが一番きれいだったとき」（1958年刊行の第二詩集『見えない配達夫』収録）は、多数の国語教科書に掲載されている。

#佐藤建吉（青柳浩生）

茨木のり子の夫、母、墓所のある鶴岡市出身。「金属疲労のメカニズム」で工学博士取得（元千葉大学准教授。金属疲労には結晶の転位が関係しているが、愛と平和のある社会の広がりには茨木のり子の詩情詩趣が大事と説くソシオエンジニア。「できる状況づくり」を提唱し、「課題」を「チャレンジ」にする。（一社）洗楓座代表理事



#「平和のための言の実」の会 実行委員会

委員長／佐藤建吉、副委員長／久保田賢三・西川浩司、事務局長／横太、監事／佐藤真理

#洗楓座の茨木のり子の行事例

2019年11月9日、江戸川区
20年10月9日、渋谷区
21年12月22日、港区
22年11月6日、軽井沢町
22年11月17日、軽井沢町
22年11月23日、千代田区
23年6月12日、北区
24年2月17日、目黒区
24年6月15日、松戸市
24年9月21日、鎌倉市

主催者トーク

佐藤建吉

沖繩で茨木のり子の詩を題材にした行事を行う意義について

茨木の沖繩との由来としては、まず『うたの心に生きた人々』に沖繩出身の詩人・山之口猷を取り上げて詩文を紹介しています。つぎに比嘉実（元・法政大学沖繩文化研究所所長）は、茨木の詩に感動を得て、「地球・生命・沖繩を考える―茨木のり子著『倚りかからず』を読む」という本を著しました。これが縁で、茨木は、比嘉の早稲田大学での授業に出席し、「おもろそうし」―沖繩各地の歌謡集―を学んでいます。

ところでこの「おもろ」は「思い」で、ゆいレールのおもろまち駅は、「沖繩の悲しい歴史から学び、未来永劫平和に暮らしたい」という県民の切なる思いが込められた地名として公募されたものであるようですが、茨木の平和を求める気持ちは、自身の戦中戦後体験に由来しています。

ひめゆり学徒隊よりも3歳年上の茨木は、『はたちが敗戦』で、沖繩だけを犠牲にして戦争を終えたと述べ、反戦や平和と愛をテーマにした詩作が多くあります。茨木は、『対話』の必要性を言葉で残しています。こうして、沖繩の人が感じていることを、茨木のり子は、言葉や詩作にしています。その思いを、沖繩で、平和祈念資料館で、共有したいと思います。

企画者トーク

青柳浩生

「言の実」の意味

この会の行事名には、「言の実」とありますが、一般には使われない言葉ですので、簡単に説明いたします。似た記述に「言の葉」があり、これは「言葉」を意味します。じつは、茨木のり子の作品をまとめた詩集にも、「茨木のり子集 言の葉1」「同 言の葉2」「同 言の葉3」（ちくま文庫）があります。詩は、言葉で表現されたものですので、適宜なタイトルであると言えます。

「言の葉」や言葉は、紙に文字で表したもののというのが原点であると言われています。紙面の文字は消滅破損しやすいので、石に刻印し長期保存して、文化や文明の証しとすることも、行われてきました。人間同士のコミュニケーションにも言葉は必須です。

「言の実」も同じく文字や言葉を残し表現しようというものです。が、言葉として、あるいは詩や文章として表現した内容を、現実の暮らしや生き方の中に結実させたいとの意図を重視しつくられたものです。「結実」と言われるように、実（み）を結び、やがてそれは、種（たね）となって、新しい芽を出して、次の世代に伝えることができます。葉は枯れて栄養分となり次世代を育てることが出来ませんが、実は種として新芽を生み出すことが出来ると言えます。

こうした背景から、「平和」「平和祈念」そして「和平」などのことばもその意味や内容を、現実にしたいたいの思いから、新しい「言の実」や「言実」としました。最近ではアウトカムという英語もしばしば用いられますが、これも成果であり、似た言葉と言えます。

一般社団法人洗楓座（ういふうざ）

法人名の洗は水力と太陽光を、楓はバイオマスと風力を、座は地熱を漢字のヘンとツクリから意味づけて、自然エネルギー推進を意図して命名。その宝庫である地方が疲弊しているため、地域快活を総合的プロデュースのため、ブルネル、ローカル鉄道応援酒「鐵の道」、まちなか大学院、茨木のり子などの活動を展開している。

http://www.kofuzza.com

国際善隣協会

東京都港区新橋駅前に事務所と会館があり、中国、韓国、台湾など近隣諸国との友好善隣関係を維持推進するための講演会や広報活動を行っている。その歴史は満州引揚げ法人や個人の親睦を端緒として設立され、80余年の活動を行なっている。

松戸朗読と文学の会

千葉県松戸市で、毎月水曜日の午後開催される。これまで通算で110回超の会を開催している。堀川静雄が遺した「人間は表現する動物である」をミッションとしている。現会長の小山勝は高知県出身。夜さ來い祭をニューヨークで、同志とともに実施。元住宅建設会社役員。全国ふるさと大使連絡会議理事で、自身も高知県、島根県ほかの、ふるさと大使でもある。

https://www.facebook.com/groups/1469434473815759

鎌倉共生の会

鈴木克也が主宰する組織。鈴木は大阪府出身で鎌倉にあった野村総合研究所に勤務、経営計画やマーケティングを担当。その後、公立はこだて未来大学で社会学や地域学を教授。定年後、鎌倉に戻り、エコハ出版を創立、40冊以上を出版。同会は、鎌倉の歴史・文化・まちづくり等をテーマにした講演会&勉強会を月例行事として活動している。



「言の実」のシンボル写真

第一部

茨木のり子の詩情世界

朗読

山川 建夫／フリー・アナウンサー

茨木のり子の作品の中から、今回の行事と関連の深い3作を朗読し紹介します。

『根府川の海』

戦時中、茨木のり子が東京から郷里の愛知県西尾市に東海道線で帰郷する際には神奈川県に根府川駅を通過する。赤いカンナが咲いている駅として知られている。そして、・・・

『雛ぶりの唄』

1945年8月15日、第2次世界大戦に、日本は敗戦した。その戦争責任は？茨木のり子は、臆せず天皇の言動を捉えた。

・・・

『自分の感受性くらい』

茨木のり子の代表的詩作。教育の目的は課題を自分で考える力を付けること。

ばさばさに乾いてゆく心を／ひとのせいにはするな／みずから水やりを怠っておいて
気難しくなってきたのを／友人のせいにはするな／しなやかさを失ったのはどちらなのか
苛立つのを／近親のせいにはするな／なにもかも下手だったのはわたくし
初心消えかかるのを／暮しのせいにはするな／そもそもが ひよわな志にすぎなかった
駄目なこと的一切を／時代のせいにはするな／わずかに光る尊厳の放棄
自分の感受性くらい／自分で守れ／ばかものよ

#山川建夫

慶応大学卒業してフジテレビ入社。モーニングショウ司会の後、17年後退社千葉県市原市に定住し自然農業を25年以上実践。フリー・アナウンサー&司会業のほか、朗読講師&執筆活動。



根府川駅のカンナ



LOVE & PEACE

愛と平和／Designed by 一色宏

朗読

神田雪枝／しまくとぅば普及センター普及員

茨木のり子の代表的な詩である『わたしが一番きれいだったとき』を、沖縄方言「うちなーぐち」に翻訳して、その普及活動をしている神田雪枝に朗読して頂きます。

『わんが一番ちゅらさたる時』

私が一番ちゅらさたる時
まちえーんじや ンじやーとう くじりてんじやん
あねー あらん とくるから
青さるぬ空 ねしがていちゃん

私が一番ちゅらさたる時
すばーふいらーぬ 人達が多く うらんたん
工場うてい 海うてい名ーん 付ちえーらん島うてい
私ねえー美姿いしーぶさる 若さ一時ぬ肝ん失なたん

私が一番ちゅらさたる時
わんくとう 気に 掛きーる人たーん うらんたん
男ぬちやーや 敬礼しぬ 礼ーじしか 知らんた しが
目笑し 出発つちいちゆたん

私が一番ちゅらさたる時
私ん頭ろーぬーぬくとん 考げーらん
私ん肝やーくふあぐふあーとうし
手足びけーじ 黒光ちやいし 光とーたん

私が一番ちゅらさたる時
私国戦し負きたん

うぬようなくとうぬ あていなゆみ
着物ぬ袖まくてい
さびさびーとうそーる町 ぬるん とうるし歩つちやん

私が一番ちゅらさたる時
ラジョーからージャズがゆうかかとうたん
止みとうたる煙ふち 目くらがんさがちー
私ねーゆす国ぬ 肝うやぎーる音楽楽しだん

私が一番ちゅらさたる時
私ねーいっぺーふしあわし
私ねーいっぺーちび口んあたらんなどうたん
私ねーいっぺーしからーさたん

やぐとう決みたん ないるむんやれー長生ちすんち
年取ていからいっぺー美さる 絵描ちやる
フランスぬ ルオーおじーぬぐどう
ね

『わたしが一番きれいだったとき』

わたしが一番きれいだったとき／街々はがらがら
崩れていって／とんでもないところから／青空な
んかが見えたりした
わたしが一番きれいだったとき／まわりの人達が
沢山死んだ／工場で 海で 名もない島で／わた
しはおしゃれのきっかけを落としてしまった

#神田雪枝
沖縄県生まれ。しまくとぅば普及センターに所属する普及員。担当分野は、普及員／読み聞かせ、普及相談員／啓発物等ツール作成、企業相談員／アナウンスである。



#しまくとぅば普及センター

沖縄県庁の9階に、業務委託事業として設置されている。その役割は消滅の危機に瀕する「うちなーぐち」の普及、伝承を一層促進させることで、普及に取り組む関係機関や団体と連携を図りながら、普及の中核的機能を担うサービス。

沖縄県では、「しまくとぅばの日」を、9月18日に、条例で制定し普及促進している。

沖縄のアイデンティティの拠りどころとしての沖縄方言を守り、それを使い話すことよって、琉球や沖縄に由来する伝統や文化を継承し保持していくことが大事であるといえる。そこで、茨木のり子の標準語による「わたしが一番きれいだったとき」の詩文を、沖縄方言「うちなーぐち」に置き換えて、朗読することによって、沖縄の人々には、作者の意図（詩趣）を受け留めやすくなるのではと、その朗読者の選定をお願いした。結果、神田雪枝さんが、抜擢された。

わたしが一番きれいだったとき／わたしはとても
ふしあわせ／わたしはとでもとんちんかん／わた
しはめっぼうさびしかった
だから決めた できれば長生きすることに／年と
ってから凄く美しい絵を描いた／フランスのルオ
ー爺さんのように／ね

【第二部】

平和祈念活動の紹介と報告

講話 沖縄に生まれて考えた「平和」の希求

平良次子／対馬丸記念館館長

企画者の依頼により、これまでの活動を通して考えた「平和」についてお話をさせていただきます。私は、1962年に沖縄県大宜味村喜如嘉で生まれました。両親が教員だったので、転勤があり、就学前に宜野湾市に引っ越し、中学進学時にまた大宜味村に戻り、78年には辺土名高校へ入学しました。私の父母、姉妹も家族みんな同校の卒業生でした。

卒業後、琉球大学で学び、その後、南風原文化センターの設立時から関わり学芸員として勤務し、平和学習に携わってきました。平和活動は、これが実務になったといえます。

母・啓子は、80年前の1944年8月に米潜水艦の攻撃を受けて沈没した学童疎開船「対馬丸」の生存者でした。戦後、母は小学校教諭として平和教育に力を尽くし、退職後も「語り部」として自身の体験を語り続けてきました。対馬丸体験者である母は、対馬丸記念館の語り部でありましたが、昨年2023年7月29日、88歳で他界してしまいました。

この1、2年で母を含めて、語り部の方が次々と亡くなったので、私たち第2、第3世代が頑張って伝えていくしかないと思っています。今年、ノーベル平和賞の受賞は、日本の被団協でした。その授賞理由には、「記憶の継承」がありました。原子爆弾に特有の「核のタブー」というのがありました。第二次大戦による沖縄戦の惨状

の結果と、その終結に関する原子爆弾の使用という結果は、ともにタブー視される局面があります。

これらの結果の伝承は、老年齢化により途絶えそうな状況にあります。「対馬丸事件」の場合においては、「対馬丸記念館」が、制度として組織化されており、タブー視に抗して「記憶の継承」をしてまいりました。こうした状況と、私の思いが期せずして重なり、今年から、対馬丸記念館の館長を引き受けることになりました。これまでの南風原文化センターでの取り組みの経験を活かしがら、分かり易く、現世代や次々世代に向けた活動をして行きたいと考えています。同館では、次のような基本理念を掲げています。

対馬丸記念館からの問いかけ

いま「対馬丸」を語ること、それは何でしょう？
戦争のこと？それとも平和？
本当に語って欲しいこと、それはいまそこにある
それぞれの「夢」のことです
暗くつらい戦時でも「夢」は持っていました
でも、生きていればこそ「夢」
犠牲になった彼らの無くしてしまった「夢」
彼らが持っていたであろう未来への「夢」
その「夢の未来」に私たちは生きています
この館に身をおいたら、感じてみて下さい
そして、考えてみて下さい

#平良次子

沖縄県大宜味村生まれ。琉球大学法文学部卒業、その後渡米。沖縄県人材育成財団の派遣事業でインドネシアへ留学。南風原文化センターに設立時より関わり、学芸員として勤務。その後、同センター館長。沖縄インドネシア友好協会事務局長。現在、対馬丸記念館館長。



#南風原文化センター

沖縄戦から戦後史、移民、人々の暮らしまで、南風原町の昔・今・未来を伝える資料館。沖縄陸軍病院と号壕群を保存・公開して、平和学習が可能な施設となっている。

#対馬丸記念館

平成9年、海底870mに沈む対馬丸が発見され、それを引き上げる代わりに政府は対馬丸記念館を設立。対馬丸遺族会は財団法人対馬丸記念会となり、平成16年対馬丸記念館が開館。その後、平成25年公益財団法人対馬丸記念館として対馬丸事件犠牲者の悲惨な歴史とその教訓を風化させることなく伝えつつ、恒久平和の実現に向けて平和の発信を行っている。また全国の協力会員の支えと政府や県の補助金のもと、館の管理運営と対馬丸犠牲者の追悼、遺族の福祉の向上、平和の大切さの取り組みを行っている。

#対馬丸事件

貨物船だった対馬丸は、太平洋戦争中の1944年8月21日、沖縄から九州へ疎開する子どもたちを乗せて、那覇を出港。2日夜、鹿児島県・トカラ列島沖で米潜水艦の攻撃を受け、沈没した。判明しているのは、乗船者1788人のうち、学童784人を含む1484人が死亡した。今年2024年は、対馬丸が沈没してから、8月22日で80年となった。那覇市にある慰霊碑「小桜の塔」に、遺族ら400人超が参列して、犠牲者を悼む慰霊祭が行われた。

平田菜乃華・仲里芽依／首里高校（1年）

2024年10月28日(月)に沖縄ハーバー・ビューホテルで「第12回沖繩平和賞授賞式」が行われました。この賞は2000年から始まり、2年に1度授賞式が行われます。第1回受賞者は「ペシヤワール会」の中村哲さんでした。首里高校からは4人が、この歴史的沖繩平和賞授賞式に参加し、平和賞の意義と受賞団体の平和活動について確かめました。今回は、私たち二人が関わりました本校の平和活動について報告いたします。

沖繩平和賞は、沖縄の視点から新たな国際平和の創造を目指し、地理的・歴史的に関わりの深いアジア太平洋地域の平和の構築・維持に貢献した個人・団体を顕彰するもので、2024年の第12回受賞者は「国際人権NGOヒューマンライツナウ」でした。

その活動は、「事実を明らかにする」として、フィリピン、インド、バングラディッシュ、カンボジア、中国、ミャンマーなどで、国家権力の暴走やビジネスによって命を奪われたり、未来を奪われ搾取されている人たちの被害の実態を調査し関係者と連携し、状況を改善することでした。

そのためには「アドボカシー」として、国内外で人件問題を解決するため国連各国政府業務等に働きかけ変化をもたらそうとして



います。そして「エンパワメント」の活動として、世界の国々で過酷な人権侵害を受けている多くの人が自分たち備わっている人権について報せ、自身の意識改革を支援しています。今回の授賞式に参加し、国際的な視点での優れた平和活動の取り組みについて知ることが出来ました。

また2024年8月には、沖繩国際大学を主催した韓国経済州島高校生徒との文化・歴史交流会にも参加しました。これは本校の校長通信にも掲載されています。

韓国高校生徒の文化・歴史交流会



首里高生と韓国濟州島高校生徒との歴史・文化交流会が、8月5日(月)～6日(火)に行われました。

初日は2004年のヘリ墜落事故から20年を迎えた沖繩国際

大学の事故現場をや、嘉数高台、佐喜真美術館見学など、平和学習を中心に行われ、翌日は首里城見学をメインに歴史交流が行われました。

韓国と日本の学校が、お互いの歴史・文化を知ることが、東シナ海の平和の大きな一歩になることを実感するいいきっかけになりました。また韓国語・日本語の学びにもつながりました。

また、国際交流の様子は、Q A Bの情報番組「CATCHY キャッチー」でも大きく取り上げられました。

貴重な夏休み期間中に、コーディネートや引率を担当した、本校の金城睦先生に深く感謝申し上げます



#沖繩県立首里高校

首里中学校(1880年)、戦後1946年から首里高等学校、復帰後1972年から現校名。詩人・山之口猷も卒業生。他著名卒業生多数。

【海邦養秀】海邦・海の囲まれた邦、養秀は優れた人材を育成する「海邦養秀」は、国学・県立一中・首里高等学校の220年余の伝統を貫く精神。尚温王が、琉球の発展は優秀な人材を育てることにあると考え、創建した。

戦時中は1944年から一中鉄血勳皇隊・一中通信隊が組織された歴史がある。その動画は、「沖繩戦継承事業」戦場に動員された21校の学徒隊」で観ることができ

る。
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/kyoiku/seikatufukushi/1006765/1027103.html>

#金城睦

沖繩県立首里高校国語科・司書教諭、沖繩県立芸術大学芸術文化研究所共同研究員、日本国語教育学会沖繩支部副支部長。

沖繩歴史教育研究会に所属しており、5年一度行っている(戦後〇〇年と沖繩の日本復帰〇〇年)「平和教育に関する高校生アンケート」「琉球・沖繩の歴史に関する高校生アンケート」の実務を担当。

沖繩文化協会(沖繩学に関する学会) 紀要誌『沖繩文化』第126号に「大城立裕『カクテル・パーティー』改稿過程の研究」が掲載された。

【第三部】 平和への稔性

朗読劇 鬼慶良間 プロジェクト演習受講生／沖縄国際大学

本年11月23&24日の両日、沖国祭のイベントとして、私たち沖国大日本文化学科の1年生(プロジェクト演習受講生103名)は、創作民話劇「鬼慶良間」を学内の厚生会館4階ホールで上映しました。

この民話劇は、同大学の卒業生でフリー・アナウンサーの佐渡山美智子先生の指導による授業の成果発表でもあり、1年生103名が、役割を分担して制作・上演しました。役者、小道具、照明、演出、監督など、すべてが学生により行われ、その台本は、佐渡山先生の恩師でもある本学名誉教授、故・遠藤庄治先生の著作に基づいたが、新たに脚色しているのです、創作民話劇と呼んでいます。



劇の内容は渡嘉敷島に伝わる民話を基に島で起きた「集団自決(強制集団死)」を伝え、命の大切さを伝えるというもの。戦争が背景であり、生きる、そして平和を島の住民が考える場面などを演じます。



沖縄タイムス掲載 (2024/12/4) <https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/1483661>

したがって、私たち学生たちも、命は大切を知り、伝えたい一心で、劇の演出と制作を行った。結果、観客からは、大喝采を受けた。また、沖縄タイムスでも報道され、努力が報われた思いであった。
大学祭の演劇は、90分で3部構成になっている。今回、平和祈念館で依頼された演劇の上演時間は30分であり、この時間に収めて、主題の平和祈念を表現するように、新たなプロジェクトとして構築することになった。
参加メンバーも少数絞りに、新機軸の「鬼慶良間」の朗読劇として演じることができました。ご期待ください。

#沖縄国際大学日本文化学科

沖国大日本文化学科は、日本文化及び琉球文化に対する造詣を深めるための理論的、かつ実践的な教育を通して、「ことばのプロジェクト」として国際社会、地域社会に貢献できる人材を育成することを教育研究上の目的としており、以下の知識、能力を身に付けるに至った人物に学位を授与します。

- ① 広い領域の知識に興味・関心を持ち、変化する社会に対応できる地域のリーダーとなりうる人物。
- ② 日本文化及び琉球文化の専門的な知識・能力を持ち、多文化共生社会の形成に資する人物。
- ③ 高度な情報収集能力と的確な自己表現力によって、現代社会の諸課題を解決できる人物。
- ④ 地域のリーダー及び教育者として、優れた思考力・判断力・表現力等を有し、適切なコミュニケーション能力によって、文化の継承・伝達に貢献できる人物。

#佐渡山美智子

フリー・アナウンサー、沖国大非常勤教員、沖国大出身。沖国大交友会副会長。「民話劇・鬼慶良間」の指導を2007年から担当。この民族劇は2024年で34回目になる。



日本文化学科のブログ <https://www.okiu.ac.jp/gakubu/sogobunka/nihon/blog/43615>

『寄りかからず』 茨木のり子

もはや
 できあいの思想には寄りかかりたくない
 もはや
 できあいの宗教には寄りかかりたくない
 もはや
 できあいの学問には寄りかかりたくない
 もはや
 いかなる権威にも寄りかかりたくはない
 ながく生きて
 心底学んだのはそれぐらい
 じぶんの耳目
 じぶんの二本足のみで立っていて
 なに不都合のことやある
 寄りかかるとすれば
 それは
 椅子の背もたれだけ

(9) ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 広いさとうきび畑は ざわわ
 ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 風が通りぬけるだけ ざわわ
 今日もみわたすかぎり ざわわ
 緑の波がうねる ざわわ
 夏の陽ざしの中で ざわわ

(10) ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 忘れられない悲しみが ざわわ
 ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 波のように押し寄せる ざわわ
 風よ悲しみの歌を ざわわ
 海に返してほしい ざわわ
 夏の陽ざしの中で ざわわ

(11) ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 風に涙はかわいても ざわわ
 ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 この悲しみは消えない ざわわ



#ムンロ王子
 東大法学部卒の異色のタロット占い師10年で2万人近くを占い、ほかにシャンソン歌手、俳優、朗読家、日本舞踊家などさまざまな顔を持つハイブリッド・パフォーマー。週刊誌、ラジオ、テレビ、舞台、カルチャー講師ほか著書などで活躍。茨木のり子のイベントで朗読や歌を行い、その普及に勤めている。



(1) ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 広いさとうきび畑は ざわわ
 ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 風が通りぬけるだけ ざわわ
 今日もみわたすかぎり ざわわ
 緑の波がうねる ざわわ
 夏の陽ざしの中で ざわわ

(2) ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 広いさとうきび畑は ざわわ
 ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 風が通りぬけるだけ ざわわ
 むかし海の向こうから ざわわ
 いくさがやって来た ざわわ
 夏の陽ざしの中で ざわわ

(3) ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 広いさとうきび畑は ざわわ
 ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 風が通りぬけるだけ ざわわ
 あの日鉄の雨にうたれ ざわわ
 父は死んでいった ざわわ
 夏の陽ざしの中で ざわわ

(4) ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 広いさとうきび畑は ざわわ
 ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 風が通りぬけるだけ ざわわ
 そして私の生まれ日に ざわわ
 いくさの終わりが来た ざわわ
 夏の陽ざしの中で ざわわ

(5) ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 広いさとうきび畑は ざわわ
 ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 風が通りぬけるだけ ざわわ
 風の音にとぎれて消える ざわわ
 母の子守りの唄 ざわわ
 夏の陽ざしの中で ざわわ

(6) ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 広いさとうきび畑は ざわわ
 ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 風が通りぬけるだけ ざわわ
 知らないはずの父の手に ざわわ
 だかれた夢を見た ざわわ
 夏の陽ざしの中で ざわわ

(7) ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 広いさとうきび畑は ざわわ
 ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 風が通りぬけるだけ ざわわ
 父の声をさがしながら ざわわ
 たどる畑の道 ざわわ
 夏の陽ざしの中で ざわわ

(8) ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 広いさとうきび畑は ざわわ
 ざわわ ざわわ ざわわ ざわわ
 風が通りぬけるだけ ざわわ
 お父さんと呼んでみたい ざわわ
 お父さんどこにいるの ざわわ
 このまま緑の波に ざわわ
 おぼれてしまいたい ざわわ
 夏の陽ざしの中で ざわわ

さとうきび畑

寺島尚彦 作詞
 寺島尚彦 作曲

1.2. ざわ わざわわざわ わ ひろ いさとうきび ばたけはざわ
 わざわわざわ わ かせ がとおりぬけるだけ - きょう
 むか
 もみわたすか ぎーりにみどりのなみがうねる なっ
 しょうみのむこうからいくさがやーってきた
 のひざしの なーかー でざわ

洗楓座による茨木のり子の行事開催のまとめ

2024. 12. 21	茨木のり子2024冬	沖縄平和祈念資料館	http://www.kofuza.com/html/images/noriko1221flyer.pdf
2024. 9. 21	茨木のり子2024秋	鎌倉生涯学習センター	http://www.kofuza.com/html/images/noriko921flyer.pdf
2024. 6. 15	茨木のり子2024夏	松戸商工会議所	http://www.kofuza.com/html/images/noriko615flyer.pdf
2024. 2. 17	茨木のり子2024春	中目黒トライ	http://www.kofuza.com/html/images/noriko217flyer.pdf http://www.kofuza.com/html/images/noriko217flyer_back_rev.jpg_rev.jpg http://www.kofuza.com/html/images/noriko217detail1.pdf
2023. 6. 12	茨木のり子と金澤翔子 バーステ ー記念イベント」くいま二人の 筆跡から学ぶことく	北とびあ（北区）	http://www.kofuza.com/html/images/flyer612.pdf
2022. 11. 23	茨木のり子2022冬／対話	日比谷図書文化館 小ホール（千代田区）	http://www.kofuza.com/html/images/noriko1123_face.pdf http://www.kofuza.com/html/images/noriko1123_back.pdf
2022. 11. 17	防災食を味わう『茨木のり子の献 立帖』のメニューから	旧軽井沢公民館 大 会議室&調理室	http://www.kofuza.com/html/images/karuzawa_1117.pdf
2022. 11. 6	日本語を味わう ― 茨木のり子の 詩作を題材として	くっかけテラス（中 軽井沢図書館）多目 的室	http://www.kofuza.com/html/images/1106_face.pdf http://www.kofuza.com/html/images/1106_back.pdf
2021. 12. 22	茨木のり子2121冬／歳月	日仏文化協会汐留ホ ール（港区）	http://www.kofuza.com/html/images/back_final.pdf http://www.kofuza.com/html/images/noriko1222_back.jpg
2020. 10. 9	茨木のり子2020秋／怒ると きと許すとき	東京ウイメンズブラ ザ（渋谷区）	http://www.kofuza.com/html/images/face_rev.png http://www.kofuza.com/html/images/back_final.pdf

2019. 11. 9	茨木のり子2019秋／倚りか からず	タワーホール 船堀 （江戸川区）	http://www.kofuza.com/html/images/funahori.pdf
2019. 11. 5	『倚りかからず』開催予告	荘内日報	https://www.facebook.com/groups/2518042215133523/posts/255693404911006/

コラムなど

2023. 3. 21	鶴岡と茨木のり子と鶴岡	文化通信第41回	http://www.kofuza.com/images/bunka_41_321.pdf
2022. 11. 22	茨木のり子の故郷／愛知県西尾 市	文化通信第37回	http://www.kofuza.com/images/bunka_37_1122.pdf
2022. 2. 1	茨木のり子からみる男女平等参 画／男女共同参画との関わり	茨木のり子六月の 会、会報、第87号	http://www.kofuza.com/html/images/gatu_2022.pdf https://www.facebook.com/photo?fbid=4901292996624154&set=pcb.3207516112852793
2020. 9. 14	「出来る状況づくり」と女性の力	文化通信第5回	http://www.kofuza.com/images/bunka_5_0914.pdf
2015. 1. 26	茨木のり子のメッセージ	新エネルギー新聞、 第18号	http://www.kofuza.com/images/nen_18.pdf

YouTube（Youtube）

2023. 6. 12	北とびあ 写真ダイジェスト版		https://www.youtube.com/watch?v=MKCYtkAqa_U
2022. 12. 29	茨木のり子2022秋／対話		https://www.youtube.com/watch?v=b8xNtpLW-eE

Facebookサイト

2022. 11. 13	茨木のり子「言の実」の会		https://www.facebook.com/groups/1017829096275726
2019. 9. 16	江戸川茨木のり子の会		https://www.facebook.com/groups/2518042215133523